

# ALM Octane

ソフトウェアバージョン: 12.55.17

## 新機能

オンラインヘルプセンター

<http://admhelp.microfocus.com/octane/>

## ご注意

### 免責事項

ここからアクセス可能なソフトウェアまたはドキュメント (以下「本資料」) の一部には、Hewlett-Packard Company (現在の HP Inc.) およびHewlett Packard Enterprise Companyのブランドが含まれる場合があります。2017年9月1日以降、本資料は所有と経営を別とする企業Micro Focusによって提供されています。HPおよびHewlett Packard Enterprise/HPEマークの使用は歴史的なものであり、HPおよびHewlett Packard Enterprise/HPEマークはそれぞれの所有者に帰属します。

### 保証

Seattle SpinCo, Incおよびその子会社 (「Seattle」という) の製品またはサービスの保証は、当該製品およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、Seattleはいかなる責任も負いません。ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

### 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。明確な指示がある場合を除き、これらを所有、使用、または複製するには、Seattleからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

### 著作権について

© Copyright 2016-2018 EntIT Software LLC

### 商標について

Adobe™は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインターフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

# 目次

ALM Octane .....	1
12.55.17の新機能 .....	3
ユーザビリティ .....	3
テスト .....	4
パイプラインおよびCIサーバー .....	5
Fortify on Demand (テクニカルプレビュー) .....	6
各種設定 .....	6
REST API .....	7
オンプレミス .....	7
ヘルプセンター .....	8
フィードバックを送信 .....	9

## 12.55.17の新機能

ALM Octaneバージョン12.55.17では、次の新機能および拡張機能が導入されています。

**オンプレミス:** 12.55.17オンプレミスリリースのその他の機能拡張については、以下も参照してください: およびオンラインヘルプセンターの「12.55.9の新機能」および「12.55.13の新機能」

## ユーザビリティ

### リリースコンテキストフィルターの改善

バックログモジュールのリリースコンテキストフィルターが改善されました。リリースによるフィルターを適用した場合に、該当するリリースに関連するすべてのフィーチャーが表示されるようになりました。フィーチャーは、フィーチャー自体がリリースに割り当てられている場合か、または関連するいずれかのバックログ項目がリリースに割り当てられている場合に、フィルター内に表示されます。

リリースに直接割り当てられているフィーチャーのみを表示するには、フィルター条件を追加します。

### その他の機能拡張:

機能拡張	詳細
不具合の別のワークスペースへのコピー	共有スペース内の複数のワークスペースにアクセスできるユーザーは、ワークスペース間で不具合をコピーできます。

WordまたはPDFへの要件のエクスポート	WordまたはPDFファイルに要件をエクスポートできます。ALM Octaneによって、選択した要件ツリーのWordまたはPDFファイルが作成されます。
エンティティの削除	エンティティを [詳細] 表示 から削除できるようになりました。
画像のエクスポート	ダッシュボードウィジェットを画像としてエクスポートできるようになりました。ALM Octaneでは、ウィジェットを画像ファイルとしてダウンロードします。 <b>制限事項:</b> Internet Explorer 11ではサポートされません。

名前が変更されたフィールド:

元の名前	新しい名前
過去の実行	テストカバレッジ ([テスト] タブを除く)
カバーされるコンテンツ	バックログカバレッジ

## テスト

### Sprinterを使用して手動テストを実行

SprinterでALM Octaneの手動テストを実行できるようになりました。Sprinterバージョン14.03以降でサポートされます。

### StormRunner Functionalのサポート

自動テストツールのリストに、**StormRunner Load**に加えて**StormRunner Functional**が追加されました。

- パイプラインステップを設定する際に、**StormRunner Functional**の値を使用することで、そのステップからの今後のすべてのテスト実行でStormRunner Functionalが使用されるように設定できます。

詳細については、[ステップの設定: テストおよびテスト実行情報の定義](#)を参照してください。

**ヒント:** APIの使用時に、エンティティにテストツールの値としてまだ**StormRunner**が含まれている場合があります。これは**StormRunner Load**を表しています。

- ALM OctaneはJenkinsで実行されたパイプラインからStormRunner Functionalのテスト実行を受け取ると、パイプラインステップを設定していない場合でも、テストツールを**StormRunner Functional**としてマークします。

これには、バージョン5.3.3以降のHPE Application Automation Toolsプラグイン (現在ベータ版として提供) が必要です。 <https://mavenrepository.com/artifact/org.jenkins-ci.plugins/hp-application-automation-tools-plugin>

## 手動テストの実行ステップを不具合にコピー

マニュアルランナーで不具合を作成する際に、テストの実行ステップを不具合の説明フィールドにコピーできるようになりました。

## パイプラインおよびCIサーバー

### Microsoft Team Foundation Server (TFS) 2017のCIサーバーとしてのサポート

CIサーバーとしてのTFSとの統合をセットアップします。ALM Octaneで、リリースの進行状況および品質の一部として、TFSビルドジョブのビルドとテストの結果、およびSCMコミットを追跡します。

詳細については、[プラグインのCIサーバーへのインストールと設定](#)を参照してください。

### ビルドの失敗の自動分類 (テクニカルプレビュー)

- Jenkinsビルドのログメッセージを対応する失敗にマッピングするルールを作成します。詳細については、[ビルドの失敗の分類](#)を参照してください。
- ALM Octaneがログファイルを分析してビルドの失敗を自動的に分類します。
- [パイプラインのビルドの失敗の分類の累積ウィジェット](#)をパイプラインのダッシュボードに追加し、パイプラインの失敗の主な理由を時系列で確認します。

### テストのクラスター化によるパイプライン実行の失敗分析の高速化 (テクニカルプレビュー)

ALM Octaneは、失敗したテスト実行を失敗の類似性に基づいてクラスター化します。[失敗したテスト実行] タブでテスト実行をクラスター単位にまとめます。

- クラスターの数から修正が必要な問題の数を把握できます。
- パイプライン実行で失敗したテストを分析する際には、大きなクラスターから分析を開始します。このクラスターの失敗した実行を1つ修正するだけで、そのクラスター内のすべての失敗が修正され、次回の実行で失敗の数が大幅に少なくなる可能性があります。
- 失敗した実行の処理を担当者に割り当てる場合は、同じクラスター内のすべての失敗を同じ担当者に割り当てることができます。

詳細については、[失敗したテスト実行の詳細](#)を参照してください。

## メインの[パイプライン]ページのユーザーインターフェースの改善

- **パイプラインの概要のウィジェットの設定**

修正済みのパイプライン実行の概要は、設定可能なダッシュボードに置き換えられました。[DevOpsと分析] ウィジェットギャラリーに用意されたウィジェットから選択するか、独自のウィジェットを作成します。

パイプラインの[詳細]タブに、パイプラインの定義に関する詳細情報が表示されるようになりました。このタブにあった、パイプラインの最新の実行に関するサマリーウィジェットは、パイプラインのダッシュボードに移動されました。

- **最近のパイプライン履歴ウィジェットの改善**

[最近のパイプライン履歴]ドロップダウンの下にある、パイプラインのタイムラインの外観と操作性が簡素化されました。

このウィジェットの任意のカラムをクリックすることで、特定のパイプラインを開いて詳しく調べることができます。

## Fortify on Demand (テクニカルプレビュー)

Fortify on Demand統合は、次のように機能拡張されました。

- Fortify On Demandの脆弱性が、コミットされたコード変更にリンクされるようになりました。これは、コミット実施者がコミットによって生じた脆弱性を見つけるのに役立ちます。
- Fortify on Demandサーバーが利用可能な場合は、脆弱性ごとにセキュリティ評価からの関連情報が表示され、問題の修正に役立てることができます。
- Fortify on Demandジョブを含むパイプラインを作成する場合に、[セキュリティ]パイプラインタイプを選択することが必要になりました。

Fortify on Demandジョブを含むパイプラインを以前に作成している場合は、[タイプ]フィールドに[セキュリティ]を追加して[脆弱性]タブを参照します (ALM Octane > [パイプライン] > [詳細]タブ)。

## 各種設定

### 忘れられる権利

ALM Octaneからユーザーを削除する場合に、そのユーザーに関するすべての記録を削除できるようになりました。これにより、GDPRの「消去する権利」規定の遵守が容易になります。

ユーザーを削除する際には、参照コードが要求されます。この参照コードは、ALM Octaneの監査履歴で削除されたユーザーのプレースホルダーとして使用されます。

ユーザーに関するすべての記録の削除の詳細については、『ALM Octane ユーザーガイド』のユーザーの削除に関する説明を参照してください。

サイトの設定の詳細については、『ALM Octaneユーザーガイド』のFORGET\_USER\_ON\_DELETE設定パラメーターを参照してください。

## 共有のカスタマイズ

関連付けられたすべてのワークスペースの共有スペースレベル、および個別のワークスペースの両方で、ユーザー定義フィールドとワークフローをカスタマイズします。

共有ワークフローは、個別のワークスペースレベルでも変更できます。

## 資格情報

基本認証を必要とするアプリケーションにALM Octaneでアクセスするための資格情報を定義できます。資格情報はURLの呼び出しルールで指定できます。

## URLの呼び出しルールの機能強化

- ALM Octaneは、URLの呼び出し要求で基本認証をサポートします。
- 追加するフィールドを選択して、要求のペイロードをカスタマイズします。
- **SaaS:** 新しい設定パラメーターCALL\_URL\_ALLOW\_HTTPを設定して、HTTPSまたはHTTP POSTの直接要求を送信できるようになりました。

## その他の機能拡張:

機能拡張	詳細
ユーザー定義フィールド (UDF)	メモフィールドがサポートされるようになりました。
リリースの非アクティブ化	作業が完了した時点で、リリースを非アクティブにすることができます。非アクティブにしたリリースは、コンテンツのリリースへの割り当てなど、データエントリのリストには表示されなくなります。ただしフィルターには表示されるため、廃棄リリースに割り当てられたコンテンツを参照することができます。

## REST API

REST APIの変更の一覧については、Developer Helpの変更内容の一覧を参照してください。

## オンプレミス

オンプレミスインストールでは、次の機能拡張が行われています。

機能拡張	詳細
------	----

Quality Centerとのライセンス共有	Quality CenterのライセンスをALM Octane Pro Editionと共有できるようになりました。
Windowsでのインストール	WindowsでのALM Octaneのインストールで、アップグレードオプションとロールバックオプションが利用できるようになりました。
ログインページの通知	管理者がLOGIN_PAGE_NOTICE設定パラメーターを使用して、ALM Octaneのログインページに、GDPRの同意の条件、諸条件、および免責事項などのカスタマイズした通知を追加できるようになりました。

## ヘルプセンター

情報にアクセスしやすくするため、ALM Octaneのヘルプセンターのデザインを変更しました。ヘルプセンターは現在、以下のメインカテゴリで構成されています。

カテゴリ	説明
Get Started	ここでは、ALM Octaneの概要について説明します。
User Help	ALM Octaneのあらゆる機能を利用するのに必要な情報がすべて記載されています。
Integrations	お使いのシステムとALM Octaneとの統合に関するさまざまな可能性について説明します。
Configuration	組織のニーズに合わせてALM Octaneのサイトとワークスペースを設定します。
Developer Help	独自のインターフェイスツールを開発して、ALM Octaneの機能を拡張します。
Videos	各種チュートリアルビデオをご覧ください。



# フィードバックを送信



新機能を使用してお気づきになった点をお知らせください。  
電子メールの宛先: [docteam@microfocus.com](mailto:docteam@microfocus.com)

